



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月9日

上場会社名 日本山村硝子株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 5210 URL http://www.yamamura.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 山村 幸治  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 佐貫 正義 TEL 06-4300-6000  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	28,423	△17.3	△1,559	—	△2,985	—	△2,478	—
2020年3月期第2四半期	34,352	△5.7	559	△0.0	666	△29.8	430	△8.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △2,245百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △230百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△242.63	—
2020年3月期第2四半期	41.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	101,813	50,994	49.8
2020年3月期	108,175	53,499	49.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 50,716百万円 2020年3月期 53,187百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	20.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 有  
 配当予想の修正については、本日(2020年11月9日)公表いたしました「2021年3月期 剰余金の配当(中間配当)の決定および期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	58,000	△13.9	△3,000	—	△6,100	—	△5,600	—	△548.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,145,249株	2020年3月期	11,145,249株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	931,496株	2020年3月期	931,282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,213,926株	2020年3月期2Q	10,493,077株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、[添付資料] 2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急激に悪化し、厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は経済活動の再開に伴い景気を持ち直しの動きが見られつつありますが、国内外における感染症の動向等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、山村グループでは長期ビジョンとしての“ありたい姿”を「環境に配慮しながら安心・安全を提供し、次世代に誇りを持って引き継ぐために成長し続ける企業グループ」と定義いたしました。そして当連結会計年度より「Change and Challenge with You」というスローガンを掲げた3ヵ年の新中期経営計画をスタートさせました。新中期経営計画では「環境変化に適応した運営体制の構築」「投資効率の追求と収益体質の確立」「事業の拡大と成長戦略の推進」「社会のニーズに応える製品・サービスの展開」「従業員の能力が最大限発揮される職場環境の構築と次世代の育成」という5つの経営方針を推進し、グループ一体となってさらなる業績向上に取り組んでおります。

事業セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

なお、2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、第1四半期連結会計期間より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。また、前年同期の数値についても当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に変更して表示しております。

#### ① ガラスびん関連事業

ガラスびん関連事業では、国内において新型コロナウイルス感染症の収束見通しが立たない中、引き続き活動自粛が販売に大きな影響を及ぼしました。G o T oキャンペーン等にも期待しましたが、ビールや清酒・焼酎をはじめとする飲食店向けのアルコール飲料、自動販売機飲料や栄養ドリンク等の減少は止まず、ガラスびん業界の出荷量は前年同期比87.0%となりました。このような中、当社の出荷量も減少し、さらに海外子会社においては、米国で中国ガラスびんメーカーに対する関税措置に関する調査による影響で輸出販売が減少した結果、セグメント売上高は18,230百万円（前年同期比23.3%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少等により、△2,127百万円の損失（前年同期は228百万円の利益）となりました。

#### ② プラスチック容器関連事業

プラスチック容器関連事業では、新型コロナウイルス感染症の影響等により飲料用キャップやディーブグリップボトル（把手とボトルが一体成型された大容量4.0Lペットボトル）の出荷が減少し、セグメント売上高は3,077百万円（前年同期比13.8%減）と減収となりました。セグメント利益は、出荷量および生産量の減少等により、112百万円（前年同期比59.3%減）と減益となりました。

#### ③ 物流関連事業

物流関連事業では、取扱い物量の減少等により、セグメント売上高は5,197百万円（前年同期比3.4%減）と減収となりました。セグメント利益は、生産性の改善や配送の効率化、外注費等の費用削減等により、180百万円（前年同期は△5百万円の損失）と増益となりました。

#### ④ ニューガラス関連事業

ニューガラス関連事業では、5G需要により当社の電子部品用ガラスの出荷が堅調に推移しました。さらに国内子会社では半導体レーザー用部品や高速通信用部品の出荷が堅調に推移し、海外子会社では高速通信用部品の出荷が堅調に推移したため、セグメント売上高は1,917百万円（前年同期比16.4%増）と増収となりました。セグメント利益は、増収により前期より改善したものの、海外子会社において品種構成の変化による利益率の悪化等があり、△38百万円の損失（前年同期は△184百万円の損失）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は28,423百万円（前年同期比17.3%減）と減収となり、連結営業利益は△1,559百万円の損失（前年同期は559百万円の利益）となりました。海外関連会社において新型コロナウイルス感染症の影響による販売量の減少や工場火災の影響があり、また、新たに設立した関連会社において立ち上げ期の損失が発生したため、持分法による投資損失は1,111百万円（前年同期は持分法による投資利益450百万円）となり、連結経常利益は△2,985百万円の損失（前年同期は666百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は△2,478百万円の損失（前年同期は430百万円の利益）となりました。

### (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期における通期の業績予想につきましては、2020年8月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,308	11,024
受取手形及び売掛金	19,682	16,818
商品及び製品	7,379	6,857
仕掛品	285	253
原材料及び貯蔵品	2,797	2,837
その他	940	845
貸倒引当金	△48	△46
流動資産合計	44,346	38,590
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,601	7,420
機械装置及び運搬具(純額)	13,651	12,874
工具、器具及び備品(純額)	997	1,088
土地	10,332	10,332
建設仮勘定	583	1,525
有形固定資産合計	33,167	33,241
無形固定資産		
その他	1,487	1,424
無形固定資産合計	1,487	1,424
投資その他の資産		
投資有価証券	2,658	3,114
関係会社株式	19,525	18,631
退職給付に係る資産	731	728
その他	6,277	6,104
貸倒引当金	△17	△21
投資その他の資産合計	29,174	28,557
固定資産合計	63,829	63,222
資産合計	108,175	101,813

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,427	5,908
短期借入金	14,851	16,134
1年内償還予定の社債	1,500	1,500
未払法人税等	280	285
賞与引当金	490	576
その他	5,681	4,427
流動負債合計	30,232	28,833
固定負債		
長期借入金	19,223	17,092
リース債務	925	834
環境対策引当金	9	9
退職給付に係る負債	3,173	3,184
繰延税金負債	346	243
その他	763	622
固定負債合計	24,442	21,986
負債合計	54,675	50,819
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	16,696	16,696
利益剰余金	26,818	24,085
自己株式	△1,564	△1,564
株主資本合計	56,026	53,292
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	725	1,042
繰延ヘッジ損益	△486	△172
為替換算調整勘定	△2,394	△2,798
退職給付に係る調整累計額	△684	△648
その他の包括利益累計額合計	△2,839	△2,576
非支配株主持分	312	277
純資産合計	53,499	50,994
負債純資産合計	108,175	101,813

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	34,352	28,423
売上原価	28,163	24,792
売上総利益	6,189	3,630
販売費及び一般管理費	5,629	5,190
営業利益又は営業損失(△)	559	△1,559
営業外収益		
受取利息	7	6
受取配当金	52	57
持分法による投資利益	450	—
その他	191	267
営業外収益合計	701	331
営業外費用		
支払利息	203	214
持分法による投資損失	—	1,111
為替差損	159	101
租税公課	57	54
その他	174	275
営業外費用合計	594	1,756
経常利益又は経常損失(△)	666	△2,985
特別利益		
固定資産売却益	2	3
特別利益合計	2	3
特別損失		
固定資産売却損	—	2
固定資産廃棄損	2	4
支払補償金	46	—
特別損失合計	49	6
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	620	△2,987
法人税、住民税及び事業税	231	166
法人税等調整額	△4	△644
法人税等合計	227	△477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	392	△2,509
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△37	△31
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	430	△2,478

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	392	△2,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△292	317
繰延ヘッジ損益	△70	314
為替換算調整勘定	△118	△195
退職給付に係る調整額	2	11
持分法適用会社に対する持分相当額	△144	△183
その他の包括利益合計	△622	264
四半期包括利益	△230	△2,245
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△168	△2,215
非支配株主に係る四半期包括利益	△61	△29



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	620	△2,987
減価償却費	2,384	2,374
持分法による投資損益(△は益)	△450	1,111
売上債権の増減額(△は増加)	△19	2,732
仕入債務の増減額(△は減少)	△414	△1,499
たな卸資産の増減額(△は増加)	△902	464
その他	△127	330
小計	1,090	2,526
利息及び配当金の受取額	48	62
利息の支払額	△191	△189
法人税等の支払額	△251	△214
法人税等の還付額	93	140
営業活動によるキャッシュ・フロー	789	2,326
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	100	216
有形固定資産の取得による支出	△3,062	△2,912
関係会社株式の取得による支出	△2,052	—
その他	△459	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,473	△2,830
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,259	△1,531
長期借入れによる収入	3,800	3,472
長期借入金の返済による支出	△1,901	△2,783
配当金の支払額	△262	△255
その他	△478	△381
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,417	△1,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△63	△93
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,330	△2,077
現金及び現金同等物の期首残高	10,872	12,945
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1,056	20
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,598	10,887

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響に関して、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社グループは外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後2021年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続すると仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。なお、2022年3月期以降については2020年5月20日に公表した中期経営計画を使用しております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症による影響は不確定要素が高いため、上記の仮定に変化が生じた場合は、当社グループの財政状態・経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	23,753	3,569	5,381	1,647	34,352	—	34,352
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	264	4,230	3	4,498	△4,498	—
計	23,754	3,833	9,612	1,651	38,851	△4,498	34,352
セグメント利益 又は損失(△)	228	276	△5	△184	315	243	559

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額243百万円には、セグメント間取引消去等57百万円、その他の調整186百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	ガラス びん関 連事業	プラスチ ック容 器関 連事業	物流関 連事業	ニューガ ラス関 連事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,230	3,077	5,197	1,917	28,423	—	28,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	338	4,008	2	4,350	△4,350	—
計	18,230	3,416	9,205	1,920	32,773	△4,350	28,423
セグメント利益 又は損失(△)	△2,127	112	180	△38	△1,872	313	△1,559

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額313百万円には、セグメント間取引消去等58百万円、その他の調整255百万円が含まれております。その他の調整は、報告セグメントに帰属しない全社費用と報告セグメントに計上されている営業外損益調整等です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2020年4月1日付で山村倉庫株式会社を分割会社、山村プラスチックプロダクツ株式会社を分割承継会社とする会社分割を実施しております。これに伴い、従来物流関連事業に含まれていた山村倉庫株式会社について、第1四半期連結会計期間より、山村倉庫株式会社を物流関連事業、山村プラスチックプロダクツ株式会社をプラスチック容器関連事業に区分しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。